

## 活動報告

団体名	災害ボランティア 愛・知・人
活動名	地震被害を受けた方のための屋根の応急処置及び家屋復旧作業
活動期間	2021/02/19 ~ 2021/05/31
活動の成果	<p>当初、地元の社協さんはボランティアがまさか屋根作業をするとは思っておらず屋根二枚は断っていたとのこと。そこに私たちが入らせていただくことになり、連日社協さんと打ち合わせをして、二枚調査や現場調査に団体代表が同行しました。ボランティアに慣れていないかたが多く、遠慮がちでなかなか声をあげてもらえなかったのですが、実際に活動している私たちの姿を見たり、口コミで情報が伝わると二枚は増えていきました。当初は警戒心から、町内会長さんに「あんたたちは業者じゃないのか？本当にお金も受けとらずにそんな作業をするのか？」と怒鳴られたりもしました。町内会長さんとしては悪質な業者から町民を守るという思いがあり、警戒感からそういう態度になるのはとても理解できました。しかし私たちが何軒ものブルーシートを張っているのを見ていて、2週間が過ぎたころには、よき信頼関係が生まれました。その後は二枚調査にも協力いただいたり、積極的に街の方に私たちを紹介してくださるようになり、街中でも住民さんから労いの言葉を頂いたり、差し入れを頂いたりして、とてもスムーズに、心地よく活動ができました。</p> <p>また、中学生のボランティアや住民さんにも声がけして一緒に活動。そこで簡単なブルーシート講習も行いました。桑折町旧庁舎も被害に遭い、解体を考えていたがブルーシートを張ってくれるなら修繕して公民館にしてもいいかという話も出てきて、応急処置のブルーシートは桑折町の中学生に絵を書いてもらいましょう！と提案して素敵な屋根に仕上がりました。今後は自分たちの街は自分たちで守る気持ちを持っていただけたことが大きな成果だったと思います。帰還するころには社協から感謝状を頂き、町内会長さんからは丁寧なお礼状と共に私たちの活動記録冊子が事務所に届きとても感激しました。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>コロナ禍ではありましたが、私たちには「行かない・やらない」という選択肢はありませんでした。公に人員募集はせず、日頃から健康管理チェック表をつけ、遠征前にはPCR検査を受けた限られたメンバーでの活動でしたので、屋根上作業は1件の完了に数日かかることもあり、これまでとは違う苦労もありました。今回も皆様からのご寄付により、遠方からの交通費や安全のための備品を揃えることができ、事故なく、たくさんの方の笑顔に出会えましたことをご報告いたしますとともに、改めてご寄付に感謝いたします。ありがとうございました。</p>

(活動のようす)

